令和８年度第１回人材育成のための意見交換会

次　第

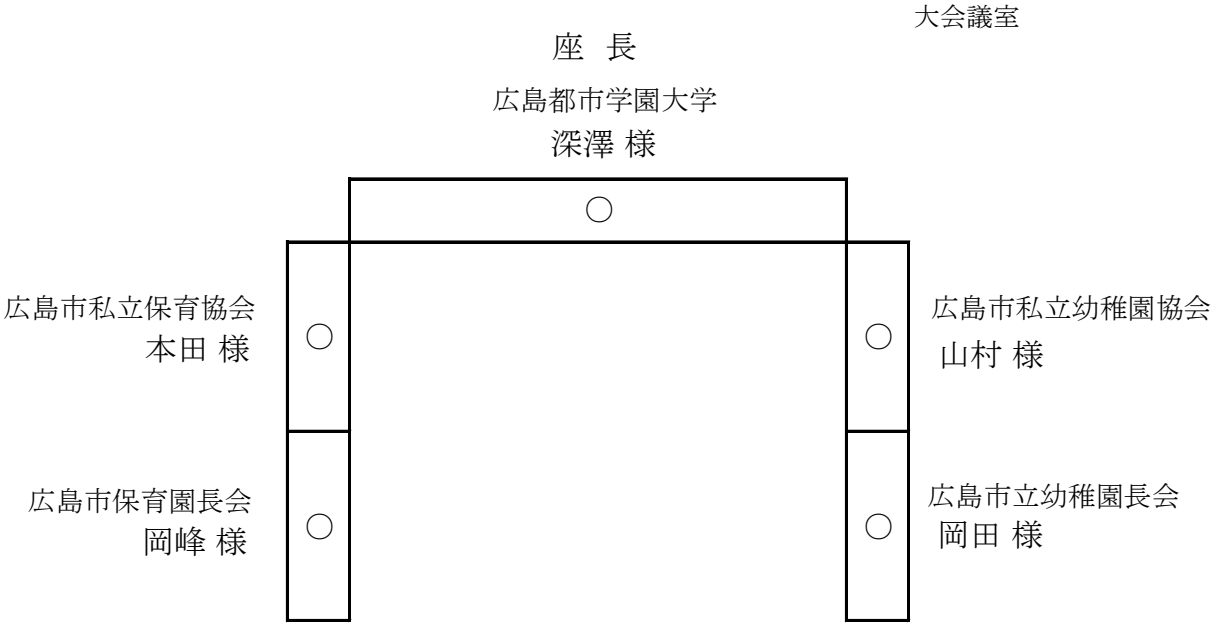
（日　　時）　令和８年７月７日（火）１３：３０　～　１５：００
（場　　所）　広島市中区地域福祉センター（大手町平和ビル）　５階　大会議室

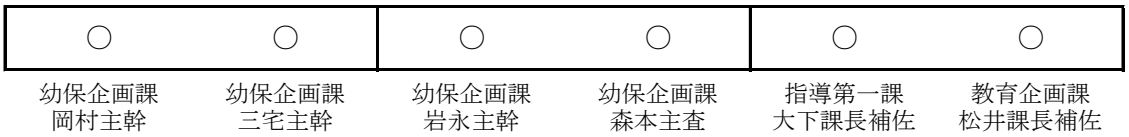
１　議題
⑴　令和８年度人材育成のための意見交換会について
⑵　幼児教育・保育施設等における新規採用者研修の充実について

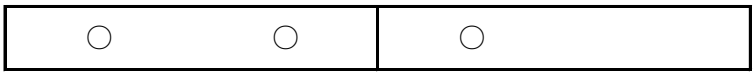
２　事務連絡

令和8年度第1回人材育成のための意見交換会配席図

日時：令 和８年７月７日（火）
１３：３０～１５：００
場所：広島市中区地域福祉センター
（大手町平和ビル） 5階
大会議室







傍 聴 席

令和８年度
「人材育成のための意見交換会」名簿

１　学識経験者・関係団体代表者

氏　名	所　属　・　職　名
深澤　悦子	広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科教授
山村　圭司	広島市私立幼稚園協会　理事・教育研究委員長（善徳寺幼稚園理事長）
本田　純枝	広島市私立保育協会　理事（みどりの森みらいこども園園長）
岡田　幸子	広島市立幼稚園長会　副会長（矢野幼稚園長）
岡峰　康江	広島市保育園長会　　副会長（わかくさ保育園長）

２　事務局

氏　名	所　属　・　職　名
岩永　拓郎	こども未来局　幼保企画課　主幹
三宅　瑞穂	こども未来局　幼保企画課　主幹
岡村　順子	こども未来局　幼保企画課　主幹
森本　伸章	こども未来局　幼保企画課　主査
佐藤　幸枝	こども未来局　幼保企画課　保育専門員
松井　尚徳	教育委員会事務局　総務部　教育企画課　課長補佐
大下　あすか	教育委員会事務局　学校教育部　指導第一課　課長補佐
原田　めぐみ	教育委員会事務局　学校教育部　指導第一課　指導主事
吉川　洋介	教育委員会教育センター　主任指導主事

令和８年度人材育成のための意見交換会について

１　人材育成のための意見交換会の開催

本意見交換会では、全てのこどもにとって質の高い幼児教育・保育の提供を可能とするため、これまでに、「幼稚園教諭・保育士等の人材育成の基本的な考え方」、「各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力」、「広島市幼稚園教諭・保育士等の相互参加可能な研修」等を作成し、本市内の幼稚園教諭・保育士等の人材育成を図っている。また、令和７年度には、園内研修の充実に向けて園内研修の参考となるよう、「こどもの育ちを支えるための語り合い」を作成した。

令和８年度からは、各園等における若手の人材育成を支援するため、新規採用者に対する取組について検討する。

２　開催予定

⑴　開催時期

第１回：７月７日（火）

第２回：９月～１２月

第３回：１月～３月

⑵　各回の議題

区分	議題
第１回	・令和８年度人材育成のための意見交換会について ・幼児教育・保育施設等における新規採用者研修の充実について（内容検討）
第２回	・幼児教育・保育施設等における新規採用者研修の充実について（内容検討）
第３回	・幼児教育・保育施設等における新規採用者研修の充実について（確定）

幼児教育・保育施設等における新規採用者研修の充実

１　目的

本市内の幼児教育・保育施設において、新規採用者として就職した幼稚園教諭・保育士・保育教諭が、保育者としてのやりがいや使命感を持ち、将来的に職場の中核を担う人材へと成長できるよう、職場内における人材育成の風土づくりを推進するとともに、新規採用者研修の充実を図る。

２　現状・課題

これまで本市では、人材育成のための意見交換会の議論を経て、公立・私立を問わず全ての幼稚園教諭・保育士・保育教諭が研修を受けやすい環境を整えるための第一歩として、令和５年度より「広島市幼稚園教諭・保育士等の相互参加可能な研修」を実施してきた。

この研修では、「各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力」を踏まえ、幼稚園教諭・保育士・保育教諭が成長段階ごとに必要な資質・能力を確認しながら、各団体が実施する一部研修の相互参加に取り組んでいる。

一方、幼稚園教諭及び保育士の早期離職が、かねてより全国的な課題となっており、幼稚園教諭については、２５歳未満の離職率が２５.５％と他の校種と比べて高く、離職理由としては、結婚・出産に次いでストレス、人間関係となっている※1。保育士についても、勤務経験がある者の勤務年数は３年未満が３０％となっており、若年層ほど教育・研修体制への不満や保護者との関係構築等に課題を抱える傾向がある※2。

※１　R8.2.17 教員養成部会 幼児教育作業部会（第 3 回）配布資料「【参考資料１】幼稚園教諭を取り巻く現状について」

※２　保育士資格を有しながら保育士としての就職を希望しない求職者に対する意識調査（H25.5.7～5.31）

３　対応案

２の現状・課題を踏まえ、各施設等において新規採用者研修の充実を図り、幼稚園教諭や保育士等の離職防止、ひいては幼児教育・保育の充実に資するため、乳幼児教育保育支援センターにおいて、各幼児教育・保育施設で実施可能な新規採用者研修のモデルを構築の上、公立・私立を問わず全ての幼児教育・保育施設へ情報発信する。当該モデルの構築に当たっては、例えば、下表の取組例のとおり、新規採用者が保育者として必要となる知識や技術を習得するだけではなく、伴走的な支援を充実することにより、所属する幼児教育・保育施設において、１人で悩みなどを抱え込むことなく、安心してスキルアップしていくことを重視する。

取組例	取組を活用して重視する点
乳幼児教育保育アドバイザー派遣制度	①　新規採用者の実情に応じて伴走的に支援 ②　幼児教育・保育の基本的な知識・技能を支援
広島市新規採用幼稚園教諭・保育士合同研修会	①　他の幼児教育・保育施設に所属する同じキャリアステージや似た境遇にある新規採用者同士の交流機会を提供 ②　幼児教育・保育の基本な知識・技術の向上に向けた研修を実施
保育の公開 （園内 or 園外）	①　新規採用者の自信や達成感につなげる公開保育の実施を支援 ②　新規採用者の幼児教育・保育の実践力の向上を支援